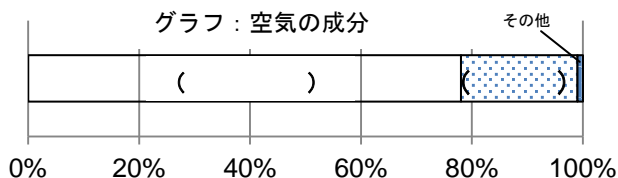


〈理科基礎シート〉

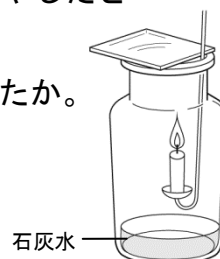
小6-1 燃焼の仕組み、水溶液の性質

月 日 年 組 番 名前

1 右のグラフは、空気がいろいろな気体からできていることを表したものです。() に当てはまる気体の名前を書きましょう。



2 右の図のように、石灰水を入れた集気びんの中でろうそくを燃やしたところ、やがて火が消えました。



(1) 火が消えた後、集気びんをふると石灰水の何色ににごりましたか。

()

(2) 火が消えた後の集気びんの中に、増えた気体は何ですか。

()

(3) ものが燃えるために必要な気体は何ですか。()

(4) ろうそくを燃やし続けるためにはどうすればよいかを書きましょう。

()

3 下の表中の水溶液A～Eは、食塩水、石灰水、うすいアンモニア水、うすい塩酸、炭酸水のいずれかです。次の①～③の実験をし、結果を下の表にまとめました。水溶液A～Eの名前を書きましょう。

①少量の水溶液を蒸発皿に取り、熱して蒸発させる。

②リトマス紙（赤色、青色）に水溶液をつける。

③水溶液に鉄を入れる。

水溶液	①蒸発させる	②リトマス紙につける	③鉄を入れる	水溶液の名前
A	何も残らなかった	青が赤色に変化	とけなかった	()
B	白い物が残った	赤・青とも変化なし	とけなかった	()
C	何も残らなかった	青が赤色に変化	あわが出て、とけた	()
D	白い物が残った	赤が青色に変化	とけなかった	()
E	何も残らなかった	赤が青色に変化	とけなかった	()

キリトリ

〈正答例〉

1 78%：ちっ素 21%：酸素

2 (1) 白色 (2) 二酸化炭素 (3) 酸素

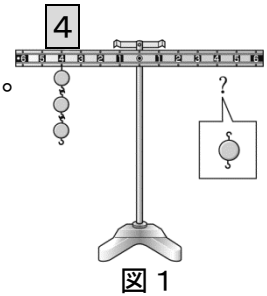
(4) (燃やすはたらきのある) 酸素が不足しないように、空気を入れかえる。

3 A：炭酸水 B：食塩水 C：うすい塩酸 D：石灰水 E：うすいアンモニア水

小6-2 てこの規則性、電気の利用

月 日 年 組 番 名前

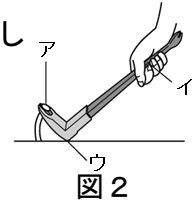
- 1 右の図1のように、実験用てこを使って次の実験をしました。
結果の表の「おもりの数」をすべて書きましょう。



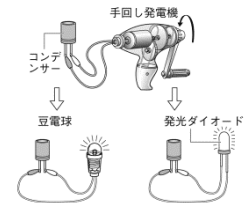
実験 左のうでの4の位置に3このおもりをつるし、右のうでにいくつかのおもりをつるし、てこが水平につり合う場合を調べる。

結果	右のおもりの位置	1	2	3	4	6
	おもりの数(こ)					

- 2 右の図2は、てこの原理を使ってくぎをぬく「くぎぬき」を表したものです。図2中のア～ウの点の名前を書きましょう。
ア () イ () ウ ()



- 3 右の図3は、電気をつくる手回し発電機です。
(1) 次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。
発電機などで電気をつくることを () といい、コンデンサーなどに電気をためることを () といいます。



- (2) 手回し発電機で同じ量の電気をコンデンサーにため、豆電球と発光ダイオードにつないだところ、長い時間明かりがついたのはどちらですか。 ()

図3

- 4 右の図4のA・Bは、電気の働きを利用した道具です。それぞれの電気の働きを次のア～エの中から1つずつ選んで、その記号を書きましょう。



A () B ()

ア 光 イ 音 ウ 熱 エ 力

図4

- 5 右の図5のように、電熱線の太さを変えて同じ大きさの発ぼうポリスチレンを切る実験をしたところ、細い電熱線より太い電熱線の方が速く切れました。このことから、分かることを「太い」、「熱」という言葉を使って書きましょう。

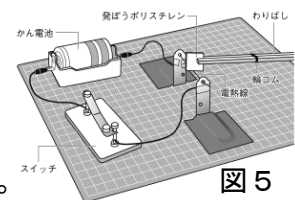


図5

()

----- キリトリ -----

〈正答例〉

- 1 1 : 1 2 2 : 6 3 : 4 4 : 3 6 : 2
 2 ア : 作用点 イ : 支点 ウ : 力点
 3 (1) 発電、ちく電 (2) 発光ダイオード 4 A : イ B : ウ
 5 太い電熱線の方が、大きな熱を出すことができる。

小6-3 人の体のつくりと働き、植物の養分と水の通り道、生物と環境

月 日 年 組 番 名前

- 1 右の図1は、ヒトのからだのつくりを表したものです。
- (1) 口からこう門までの食べ物の通り道を何といいますか。()
- (2) 図1のア～キの中から(1)の通り道を選んで、口からこう門にかけて、順番になるよう並べかえましょう。
口→() → () → () → こう門
- (3) 呼吸するためのぞう器を図1のア～キの中から1つ選んで、その名前も書きましょう。(記号 名前)
- (4) 呼吸して取り入れた酸素は、血液によって全身に運ばれます。血液を流すためのぞう器を図1のア～キの中から1つ選んで、その名前も書きましょう。(記号 名前)
- (5) からだの各部分でいらなくなった物が運ばれ、にようをつくるぞう器の名前を書きましょう。()

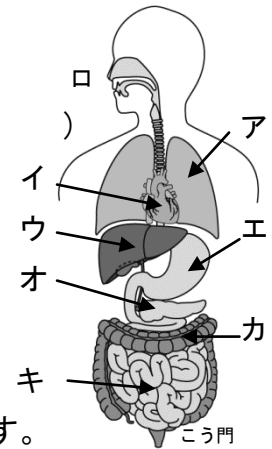


図1

- 2 次の図2のように、葉の一部をアルミはくでおおい、十分に日光を当てた後、図3の方法で、葉にデンプンがつくられているかを調べました。

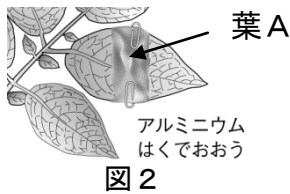


図2

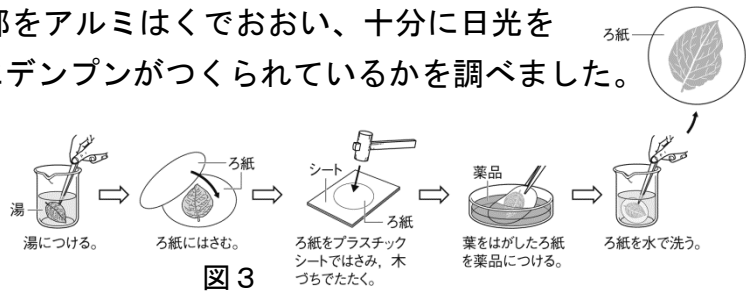


図3

- (1) 図2の葉の一部をアルミはくでおおったわけを書きましょう。
葉に()
- (2) 図3のデンプンを調べる薬品の名前を書きましょう。()
- (3) 図2の葉Aを、図3の方法で調べた結果、青紫色になった部分を右の図4中に黒くぬり示しましょう。
- (4) 葉まで運ばれた水が空気中に水じょう気となって出ていくことを何といいますか。()

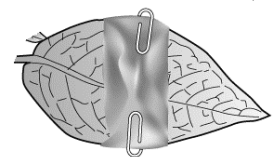


図4

- 3 生き物は「食べる」「食べられる」関係でつながっています。このような生き物どうしのつながりを何といいますか。()

----- キリトリ -----

〈正答例〉

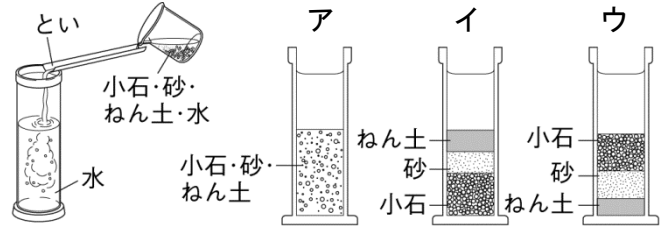
- 1 (1) 消化管 (2) 口→(エ→キ→カ)→こう門 (3) ア、肺
(4) イ、心臓 (5) じん臓
- 2 (1) (葉に) 日光が当たらない部分をつくるため。(2) ヨウ素液 (3)
(4) 蒸散 3 食物連鎖



小6-4 土地のつくりと変化、月と太陽

月 日 年 組 番 名前

1 地層のできかたを調べるために、右の図1のように、水を入れた容器にといを使って土や砂を入れました。



(1) 円柱の水そうにつもった土や砂のようすを表したものを右のア～

ウの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。()

(2) 地層をつくりあげる小石の粒の角は、どうなっていますか。

()

(3) 地層は、どんな場所で小石・砂・ねん土がたい積してできますか。()

(4) 地層には、水の働きでできる場合のほかに、どのようにできる場合がありますか。()

(5) 地層の中で、大昔の生き物のからだや生き物がいたあとなどが残った物を見る
ことがあります。このような物を何といいますか。()

2 次の図2のア～エは別の日の同じ場所に見た月をスケッチしたもの、図3は太陽と地球と月の位置関係を表したものです。

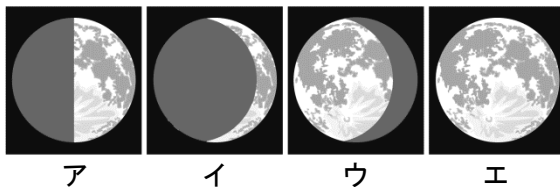


図2

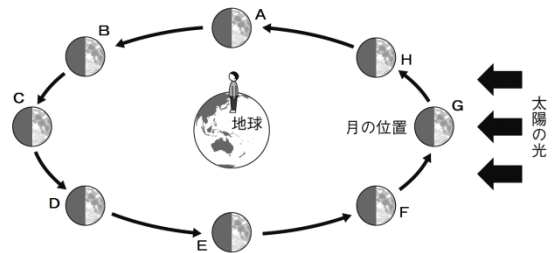


図3

(1) 月について、() に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

① 月は、太陽や地球と同じ()形である。

② 太陽は、自ら強い光を出している。月は、太陽の()を反射して、
光っているように見える。

③ 月には、()とよばれるくぼみがある。

(2) 図2のア～エの月が見える太陽と地球と月の位置関係について表したものを、
図3中のA～Hの中から1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

ア() イ() ウ() エ()

----- キリトリ -----

〈正答例〉

- 1 (1) イ (2) 角がとれ、丸みをおびている。 (3) 海や湖の底
(4) 火山灰などがつもってできる。 (5) 化石 2 (1) ①球 ②日光(光)
③クレーター (2) ア: A イ: H ウ: D エ: C

小6-5 人や動物の体

月 日 年 組 番 名前

1 図1は人の体のつくりを、図2は図1のあるぞう器のひだを、図3は不要になったものを体の外へはい出するぞう器を表したものです。

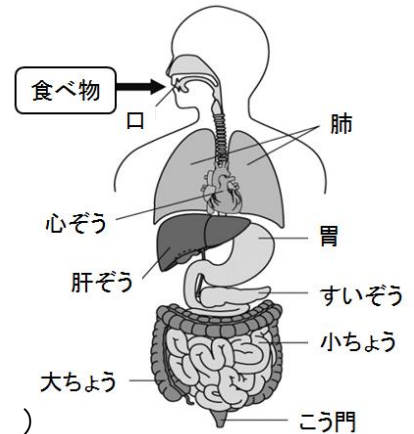


図1

(1) だ液は、でんぷんを別のものに変えるはたらきがあります。だ液や胃液のような液を何といいますか。

()

(2) 消化とは、食べ物をどのようにするはたらきかを書きましょう。

()

(3) 食べ物の通り道の名前を図1から選んで、食べ物の通る順番に書きましょう。

(口 → → → → こう門)

(4) 図2のひだがある図1のぞう器の名前を書きましょう。

()

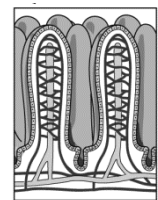


図2

(5) 次の①、②のはたらきをする図1のぞう器の名前を書きましょう。

① 食べ物を養分として吸収するぞう器 ()

② 吸収した養分をたくわえるぞう器 ()

(6) 次の①～③の答えを書きましょう。

① 呼吸するぞう器の名前 ()

② 呼吸した後、増える気体の名前 ()

③ 呼吸した後、へる気体の名前 ()

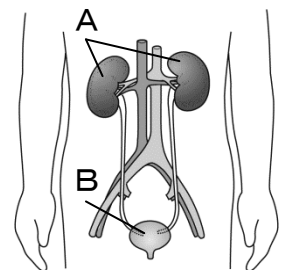


図3

(7) 血液を流すはたらきをするぞう器の名前を書きましょう。()

(8) 不要なものをこしとる図3のAの名前を書きましょう。()

(9) によろをためる図3のBの名前を書きましょう。()

キリトリ

〈正答例〉

- 1 (1) 消化液 (2) 体の中に吸収されやすいかたちにかえること。
(3) (口) → 胃 → 小ちょう → 大ちょう → (こう門) (4) 小ちょう
(5) ①小ちょう ②かんぞう (6) ①肺 ②二酸化炭素 ③酸素
(7) 心ぞう (8) じんぞう (9) ぼうこう